

2025 年度事業報告書

2025 年 4 月 1 日から 2026 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 心澄

1. 事業の成果

2025 年度も継続して指定支援機関として活動を継続することができ、長崎県子ども若者総合相談センター(以下ゆめおす)、社会的養護自立支援拠点事業、就労継続支援B型しんじょう(以下 B 型)、共同生活援助シェアホームおえん(以下おえん)、地域若者サポートステーション(以下長崎サポステ・佐世保サポステ・五島サポステ)などの事業を主軸に展開しました。従来通り、不登校・ひきこもり・若年無業者・ケアリーバー・LGBTQ の方々への支援を専門的に行える体制が整っている。

新事業としては、障害者が福祉施設への通所か就労かを検討するための就労選択支援を開始し、若年の住宅確保用配慮者のため居住支援法人として認可されました。

法人内の新しい取り組みとしては、責任者が自由な予算を持ち、各事業の質やスタッフケアの向上を創意工夫するための予算を確保し、ソフト面の基盤強化を進めることができた。

長崎での悩む子どもや若者たちに対しての、入り口から出口までの一貫した支援体制の継続に近づいている。今年度も、どのような方も断らないという方針がゆえに、支援が上手くいかない方々を傷つけてしまうという反省点も残るが、支援の質を上げるだけでは解決できず、長崎において心澄以外の若い団体などの社会資源を育てていく必要があると感じているが、課題はまだ改善できておらず、長崎にどのように投資していく必要があるのかについて、さらなる工夫が必要だと感じている。

2. 事業の実施に関する事項 ※別紙①参照

(1)特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数(件数)	事業費の金額 (千円)
訪問相談事業	・訪問 ひきこもり当事者及びその家族を対象にした個別の相談及び訪問支援	通年	長崎市と近郊市町	8 名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者及びその家族 利用者延 112 名	123 千円
自立支援事業	・居場所 ・清掃ボランティア ・七色クローバー ・人形劇団しんじょう ひきこもり当事者等を対象にコミュニケーショントレーニング	週 1 回	事務所他 長崎市近隣	10 名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者等 利用者延 502 名	143,806 千円
	・家族会 家族に対し、情報交換や	月 1 回	事務所他 長崎市近	2 名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者及	

	交流の場の提供		隣		びその家族 利用者延 42 名	
	・就労体験 就労を目指している者に対して、イメージ作り等のために職場体験を行う	通年	事務所他 長崎市近隣	3 名	長崎県内のひきこもり当事者等 利用者延 46 名 受入協力企業 159 社	
	・心澄団らん 就労後に再孤立化しないために、夕ご飯を共にする時間を提供	通年	事務所	5 名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者等 利用者延 103 名	
	・来談 心澄事務所にきて、自由に過ごす。また、希望により各種活動に参加	通年	事務所他 長崎市近隣	6 名	長崎市とその近郊の市町に住む、ひきこもり当事者等 利用者延 781 名	
	・相談事業 (長崎県子ども・若者総合相談センター事業)	通年	事務所他 長崎県内	7 名	長崎県域 延相談件数 10,841 件	
	・相談事業 (地域若者サポートステーション及びそれに付帯する事業)	通年	長崎県 全域	34 名 兼務者除く	長崎県域 延相談件数 16,073 件 就職等 238 人	
	・相談事業 (五島市就労支援事業)	通年	五島市	4 名	五島市内で就労を希望する者	
	・相談事業 (社会的養護自立支援拠点事業(アフター))	通年	長崎県	4 名	長崎県域 延相談件数 3,867 件 延拠点利用数 992 件	
	・校内居場所カフェ 近郊の通信制高校にて、不登校や退学予防のための学内アウトリーチ (連合長崎助成事業)	通年	こころ未来 高等学校	4 名	こころ未来高等学校 在校生 利用者延 503 名	
	・浜の町カフェ	通年	長崎市浜町	任意 団体へ 委託	クライアント:2,055 人 一般客:1,053 人 延人数:3,108 名	
ひきこもりに関する周知セミナー等事業	・外部講演等	通年	長崎県内	2 名	長崎県域 聴講者数延 2,911 名	274 千円
	・定時制・通信制高校等合同説明会	2025. 10.4	長崎県庁	スタッフ 15 名 ボランティア 約 50 名	長崎県域 来場者計 259 名	
障害者総合支	・就労継続支援 B 型 しんじょう	通年	事務所他 長崎県内	7 名	長崎県内在住の障害者 通所利用者延 6,108 名	40,352 千円

援 法 に 基 づ く 障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 (就 労 継 続 支 援 B 型)	現時点で一般就労が難 しい障害を持つ方々に就 労の機会を提供するとと もに、その能力の向上に 必要な訓練等を行う。				来談利用者 780 名 就労決定者 3 名	
障 害 者 総 合 支 援 法 に 基 づ く 障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 (共同生 活援助)	・GH 18 歳以降の虐待の影響 下にある者を主な対象と して実施し、死なない生 き方と、生き方の獲得を 目指す。	通年	お え ん (GH) 事務所他 長崎県内	4 名	長崎県内在住の障害者 入居者 9 名 (2026 年 3 月 31 日時点) 延利用者数 2,084 名 一時保護委託受入 実人数 4 人 延べ受入日数 368 日	21,102 千円
障 害 者 総 合 支 援 法 に 基 づ く 障 害 福 祉 サ ー ビ ス 事 業 (就 労 選 択 支 援)	・就労選択支援しんじ ょう 障害のある方が就労に 関するアセスメントを通 じて、自身の希望や能 力、適性に合った働き方 や進路を選べるよう支援 する。	2026. 10～	事務所他 長崎県内	3 名	長崎県内在住の障害者 実利用者数 5 人	27 千円

(2)前年度比

		2021	2022	2023	2024	2025	前年比	
事業・活動内容	訪 問	112	165	110	104	112	108%	
	居 場 所	180	78	145	164	123	75%	
	家 族 会	54	44	33	38	42	111%	
	人 形 劇	475	68	117	184	274	149%	
	清掃ボランティア	100	75	65	36	25	69%	
	七色クローバー	124	79	92	73	80	110%	
	就労体験	-	51	43	60	46	77%	
	来 談	1152	727	1113	705	781	111%	
	心澄団らん	100	60	51	62	103	166%	
	外部講演等	3585	8560	6127	5443	2,911	53%	
	そ の 他	-	19	11	58	365	629%	
	校内居場所カフェ	171	281	432	463	503	109%	
	浜町カフェ	-	-	69	852	3,108	265%	
	相談 事業	ゆめおす	6,786	6,551	6,750	8,244	10,841	132%
		サポステ (長崎・五島・佐 世保)	13,003	12,836	13,570	16,380	16,073	98%
		アフターケア 事業	-	-	99	1,840	3,867	110%
	障害 分野	B 型	6,022	6,187	6,082	6,507	6,108	94%
お え ん		2,851	3,477	2,498	2,520	2,084	83%	
総 計		34,715	39,258	37,407	43,661	47,453	109%	

※就労体験はサポステ事業として実施している職場体験の数を記載。